

令和3年度学校評価保護者アンケート結果報告 ※児童との比較も合わせて

昨年末に、お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度は12月現在の全児童数263名に配付し、227名の回答がありました。アンケートの集計につきまして、下記のとおりまとめましたので、報告させていただきます。

1 子どもは、学校で楽しく過ごしている。

「そう思う」「大体そう思う」を含めると、保護者91%、児童80%が良好ととらえています。保護者数と児童数が10%程度の差があります。昨年度に引き続き感染症対策によって学校での行事や活動が制限されている事が大きな要因であると考えられます。学校としては、児童の安全と教育活動の確保について今後も検討しながら進めていきます。

2 子どもは、学習の基礎・基本(読み・書き・計算など)が身についている。(+3%)

86%の保護者が良好ととらえている。昨年度よりも3%向上しました。今後も、基礎基本の定着を図るため、教師の授業の進め方等についての校内研修を継続していきます。

3 子どもは、宿題や家庭学習の学習習慣が身についている。(+3%)

保護者の69%が良好ととらえているが、昨年度より3%向上しました。長期休みの宿題の出し方など、個に応じた対応をしていることが一つの要因であると考えられます。

4 子どもは、あいさつや時間を守るなどの基本的な生活習慣が身についている。(+4%)

保護者の84%が身に付いていると感じており、昨年度より4%向上しました。また、児童会や環境委員会等をはじめ、児童に自ら「あいさつ運動」実施しているので、今後もあいさつがより定着できるように支援していきます。

5 子どもは、人の気持ちを理解した言動がとれている。(+3%)

保護者の87%が人の気持ちを理解した行動が取れていると感じており、昨年度より3%向上しました。相手の気持ちを考えての言葉かけや、ふわふわ言葉・ちくちく言葉など、自分の発言一つの大切さを伝えていく必要があります。

6 子どもは、学校行事(運動会、持久走大会、校外学習)に意欲的に参加している。(+1%)

保護者の94%が良好ととらえており、アンケートの中でも意識が高い結果となりました。子ども達のがんばる姿を保護者が感じ取っていると考えられます。

7 子どもは、非常災害時の避難行動がわかっている。

95%の児童が良好であると回答しましたが、保護者は85%と意識の差が見られました。児童は、地震と火事を想定した避難訓練を数多く体験し、第1次、第2次避難行動が概ねできるようになっています。今年度は告知無しでのワンポイント避難訓練を定期的実施しています。

8 学校は、子どもの話を聴こうとしている。(+1%)

保護者の84%が良好ととらえており、昨年度とは大きな変化はありません。学校では定期的に、「楽しい学校生活を送るためのアンケート」や「いじめアンケート」を実施や面談等を行い、指導に当たっています。今後も「チーム学校」として、児童の悩みや相談等については複数の教職員で対応していきます。

9 学校は、子どものことについて連絡や相談をした際に丁寧に対応している。(+1%)

保護者の88%が良好ととらえており、昨年度より1%向上しました。トラブルなど発生した際、どの児童にも平等に対応を心掛けてきた教職員には嬉しい数値です。今後も誠実で丁寧な対応をすすめるため、保護者や子どもの気持ちや事実を正しく把握しているのかを慎重に判断していきます。

10 学校は、子どもの安全や事故防止に力を入れている。

保護者の86%が良好ととらえています。学校では、必要に応じて登校指導、下校指導を行い事故防止に努めてきました。また、不審者情報の際は、連絡メールを流すと共に、必要に応じて教職員による学区パトロールを実施してきたので継続していきます。

11 学校は感染症対策に努めている。(+2%)

89%の保護者が良好ととらえています。また「そう思わない」と回答している保護者が、今年度は0%だったので、今後も感染症状況に応じた、適切な対策を施していきます。

12 学校は、地域行事に協力的である。(+2%)

今年度は感染症対策のため、多くの地域行事が中止となり地域行事に例年通りの参加ができませんでした。また、校庭・体育館は、学校の学習や行事に支障のない範囲で開放しています。

13 学校の様子を学校・学年だよりやホームページ、懇談会等で知ることができる。(+5%)

保護者の90%が良好ととらえています。今年度は感染症対策を施しながらであったが、学習参観や学年・学級懇談会を実施することができました。また、保護者がボランティアとして多く協力していただいたため昨年度より5%向上しました。

参考1 学校のホームページを閲覧する。(+11%)

「よく閲覧している」は49%で昨年度より11%と大幅に向上しました。HPを学校学年行事に合わせて、頻繁に更新していることが向上の一因であると考えます。また、社会のデジタル化がより浸透してきた側面も考えられます。

参考2 子どもは、本に親しんでいる。

良好は50%で、昨年度より4%減少しました。「家庭学習や読書を進んで行っている」と回答した児童も69%で、2%減少しています。タブレット学習が取り入れられ、個の学習の選択肢が増えたことも一つの要因であると考えます。

○保護者自由記述について

保護者自由記述	回答
クラスの様子が分からない。	必要に応じて、担任との面談も可能ですのでご連絡ください。
webでアンケートを実施してほしい。	次年度以降検討しております。
いつも連絡帳を細かく見ていただき感謝しております。	引き続き継続してまいります。
持久走大会を自由参加にしたが、数少ない行事だったので全員参加にした方が良くと思いました。	今年度より希望制をいたしました。検討してまいります。

○全体をとおして

全体をとおして多くの項目で80%の肯定的な評価をいただいたことは、本校職員の励みとなります。今後もまずは、「子どもは学校で楽しく過ごしている」の項目については、90%以上の評価を継続できるように、教育活動を推進していきたく思います。

課題は「宿題・家庭学習の学習習慣の定着」となります。個に応じた内容や分量を再度確認して精選していくことが、必要になってくると思います。また、家庭学習の取り組む時間等についても再度、教職員・児童がより共有して、家庭学習習慣の定着から、学力の定着を図っていきたく考えています。

お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回の内容等を踏まえ、子ども達が、よりよい学校生活を送れるように教職員一同、力を尽くしていきたく思います。